【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第４区分
【発行日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【公開番号】特開2008-278615(P2008-278615A)
【公開日】平成20年11月13日(2008.11.13)
【年通号数】公開・登録公報2008-045
【出願番号】特願2007-118390(P2007-118390)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｌ　7/12　(2006.01)
Ｈ０２Ｍ　7/797　(2006.01)
Ｈ０２Ｐ　3/18　(2006.01)
Ｈ０２Ｐ　27/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｌ　7/12　Ｄ
Ｈ０２Ｍ　7/797
Ｈ０２Ｐ　3/18　１０１Ａ
Ｈ０２Ｐ　7/63　３０２Ｒ

【手続補正書】
【提出日】平成21年4月20日(2009.4.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３０】
図１４にブレーキ時の動作状態を示す。ここではスイッチング素子２１を常にオフとする。スイッチング素子２２をオフとすれば、リアクトル４１、フライホイールダイオード３１を介して実線で示す経路で電流が流れ、スイッチング素子２２をオンさせると、リアクトル４１、スイッチング素子２２、蓄電装置１１を介して点線で示すように電流が流れる。従ってこの場合もスイッチング素子２２のオンオフによって、（Ａ）点には図１５に示すようにチョッピング電圧が得ることができる。よって図１１の実施例においても、図６の実施例と同様の効果を得ることができる。